

令和5年度ごみ処理実績表

1 令和5年度ごみ処理実績表

人口・世帯数比較表（対前年度比）

	令和5年度	令和4年度	増減	対前年度比
人 口 （ 人 ）	607,279	604,894	2,385	100.4%
世 帯 数 （ 世 帯 ）	304,393	299,580	4,813	101.6%

※各年度3月31日現在

ごみ発生量比較表（対前年度比）

	令和5年度(t)	令和4年度(t)	増減(t)	対前年度比
排 出 量	166,145.99	175,568.33	-9,422.34	94.6%
排出量（集団資源回収を除く）	156,587.62	165,189.01	-8,601.39	94.8%
一 般 ご み	131,677.56	138,085.37	-6,407.81	95.4%
粗 大 ご み	4,872.00	6,521.51	-1,649.51	74.7%
資 源 物	19,931.89	20,474.12	-542.23	97.4%
び ん	3,202.16	3,338.33	-136.17	95.9%
飲 料 か ん	1,294.85	1,343.79	-48.94	96.4%
金 属 類	1,277.33	1,353.44	-76.11	94.4%
ペ ッ ト ボ ト ル	2,493.70	2,446.89	46.81	101.9%
繊 維 類	2,105.71	2,166.17	-60.46	97.2%
紙 類	6,117.77	6,252.31	-134.54	97.8%
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製容器包装	3,440.37	3,573.19	-132.82	96.3%
乾 電 池	93.61	97.88	-4.27	95.6%
有 害 ご み （ 蛍 光 管 ）	5.84	10.13	-4.29	57.7%
集 団 資 源 回 収	9,558.37	10,379.32	-820.95	92.1%
災 害 廃 棄 物	6.72	0.00	6.72	皆増

家庭系・事業系別排出量比較表（対前年度比）

	令和5年度(t)	令和4年度(t)	増減(t)	対前年度比
家庭系	115,703.28	123,245.95	-7,542.67	93.9%
一 般 ご み	90,875.80	96,223.97	-5,348.17	94.4%
粗 大 ご み	4,827.94	6,466.87	-1,638.93	74.7%
資 源 物	19,900.09	20,447.10	-547.01	97.3%
乾 電 池	93.61	97.88	-4.27	95.6%
有 害 ご み （ 蛍 光 管 等 ）	5.84	10.13	-4.29	57.7%
事業系	40,877.62	41,943.06	-1,065.44	97.5%
一 般 ご み	40,801.76	41,861.40	-1,059.64	97.5%
粗 大 ご み	44.06	54.64	-10.58	80.6%
資 源 物	31.80	27.02	4.78	117.7%

中間処理量比較表（対前年度比）

	令和5年度(t)	令和4年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼 却 処 理	137,611.37	145,167.02	-7,555.65	94.8%
破 砕 処 理	4,045.83	5,119.33	-1,073.50	79.0%
資 源 化 処 理	19,933.54	20,477.04	-543.50	97.3%

最終処分量比較表（対前年度比）

	令和5年度(t)	令和4年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼却残渣	6,742.20	6,832.60	-90.40	98.7%
資源化物	27,537.85	29,599.36	-2,061.51	93.0%
処理困難物	153.99	172.15	-18.16	89.5%

※ 令和11年度を目標年度とする最終処分量（焼却残渣物）の目標は6,009 t

資源化物比較表（対前年度比）

	令和5年度(t)	令和4年度(t)	増減(t)	対前年度比
資源化物	27,537.85	29,599.36	-2,061.51	93.0%
焼却残渣金属	0.00	375.19	-375.19	0.0%
未酸化鉄	565.36	623.75	-58.39	90.6%
未酸化アルミ	47.61	55.71	-8.10	85.5%
溶融スラグ	6,394.45	7,048.56	-654.11	90.7%
焼却残渣物（セメント資源・路盤材資源）	1,708.17	1,646.31	61.86	103.8%
再生粗大ごみ	5.82	8.72	-2.90	66.7%
破碎前金属	149.77	293.79	-144.02	51.0%
破碎後金属	688.54	864.51	-175.97	79.6%
破碎前アルミ屑	16.82	34.73	-17.91	48.4%
破碎後アルミ屑	21.42	27.27	-5.85	78.5%
びん	3,051.18	3,233.06	-181.88	94.4%
飲料かん	1,072.56	1,113.58	-41.02	96.3%
金属類	924.99	1,000.45	-75.46	92.5%
繊維類	1,523.65	1,658.46	-134.81	91.9%
ペットボトル	2,138.19	2,040.94	97.25	104.8%
紙類	5,923.32	6,075.37	-152.05	97.5%
プラスチック製容器包装	3,164.72	3,336.37	-171.65	94.9%
特定家庭用機器	7.67	8.93	-1.26	85.9%
小型家電	34.16	45.65	-11.49	74.8%
乾電池	93.61	97.88	-4.27	95.6%
二次電池	0.00	0.00	0.00	—
蛍光灯管	5.84	10.13	-4.29	57.7%

1人・1世帯あたり排出量比較表（対前年度比）

	令和5年度(g)	令和4年度(g)	増減(g)	対前年度比
1人1日あたり	747.52	795.20	-47.68	94.0%
1世帯1日あたり	1,491.33	1,605.61	-114.28	92.9%

※ 1人（1世帯）1日あたり排出量＝排出量÷年度末人口（世帯）÷365日（令和5年度は366日）

※ 令和11年度を目標年度とする市民1人1日あたりのごみ排出量目標は760 g

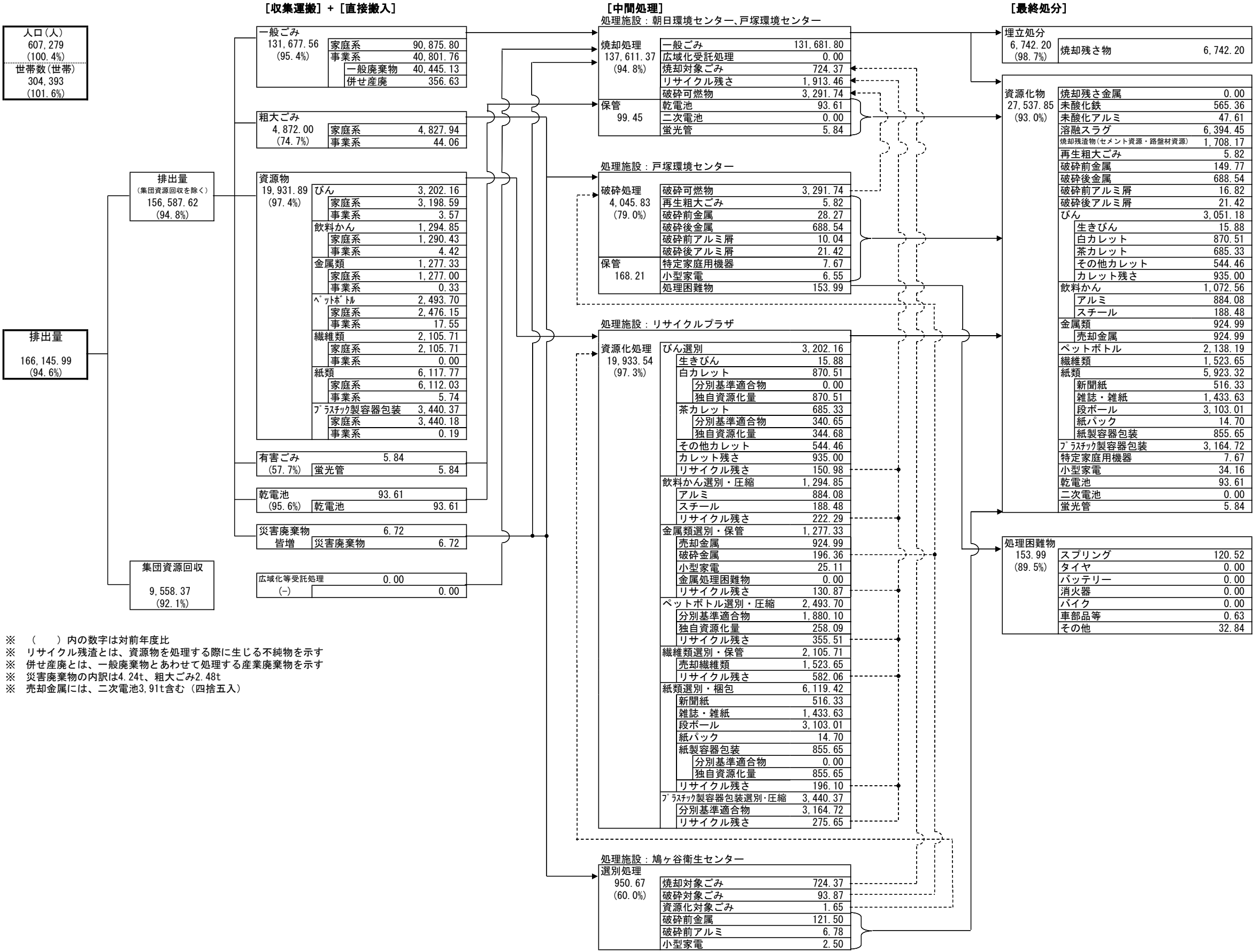
資源化率及びリサイクル率比較表（対前年度比）

	令和5年度(g)	令和4年度(g)	増減(%)	対前年度比
資源化率(%)	17.6%	17.9%	-0.3	98.3%
リサイクル率(%)	22.3%	22.8%	-0.5	97.8%

※ 資源化率(%)＝資源化物÷排出量（集団資源回収を除く）×100

※ リサイクル率(%)＝（資源化物＋集団資源回収）÷排出量×100

※ 令和11年度を目標年度とするリサイクル率の目標は30.0%



※ () 内の数字は対前年度比
※ リサイクル残渣とは、資源物を処理する際に生じる不純物を示す
※ 併せ産廃とは、一般廃棄物とあわせて処理する産業廃棄物を示す
※ 災害廃棄物の内訳は4.24t、粗大ごみ2.48t
※ 売却金属には、二次電池3.91t含む（四捨五入）

中間処理量	戸塚、鳩ヶ谷処理量	紙類選別・梱包
162,809.07	5,164.71	6,119.42
戻り入れ	破碎戻り	資源化対象ごみ
6,221.45	290.23	1.65
検算排出量	検算粗大ごみ	検算紙類
156,587.62	4,874.48	6,117.77

3 廃棄物の排出状況について

(1) 排出量の推移

「排出量」とは、市が収集したごみの量、市のごみ処理施設に直接搬入されたごみの量、および集団資源回収で資源化された紙類・繊維類の量の合計であり、本市の一般廃棄物の総量（併せて処理する産業廃棄物を含む）である。

令和5年度は、対前年度比9,422t(5.4%)減少した。

図1 排出量の推移

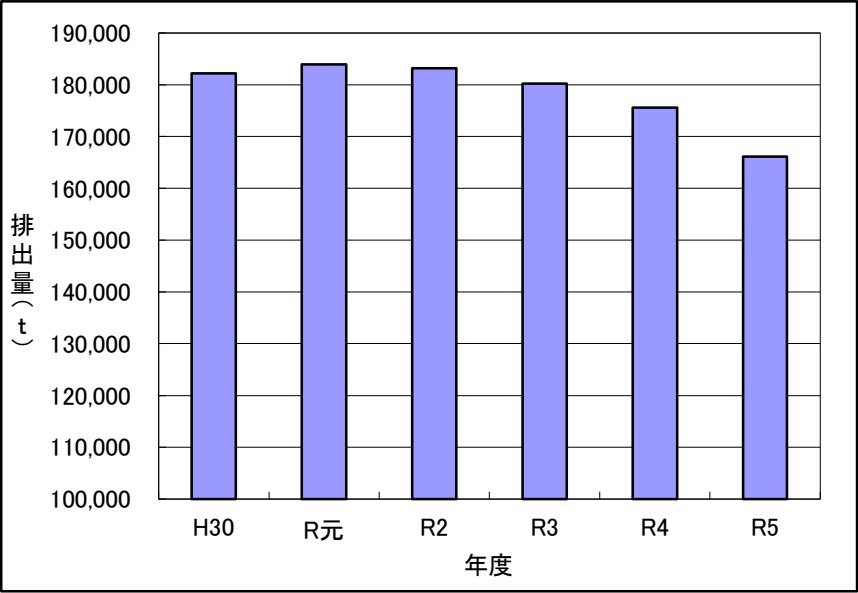


表1 排出量の推移

年 度	H30	R元	R2	R3	R4	R5
排 出 量	182,207	183,899.20	183,142.39	180,204.75	175,568.33	166,145.99
	-	100.9%	99.6%	98.4%	97.4%	94.6%

【下段は、対前年度比率】

※平成30年度3 t、令和元年度333 t、2年度17 t、3年度5 t、5年度7 tの災害廃棄物を含む。

(2) 排出量（集団資源回収量除く）の推移

「排出量（集団資源回収量除く）」とは、排出量から集団資源回収量を除いた量である。

令和5年度は、対前年度8,601 t(5.2%)減少した。

図2 排出量（集団資源回収量除く）の推移

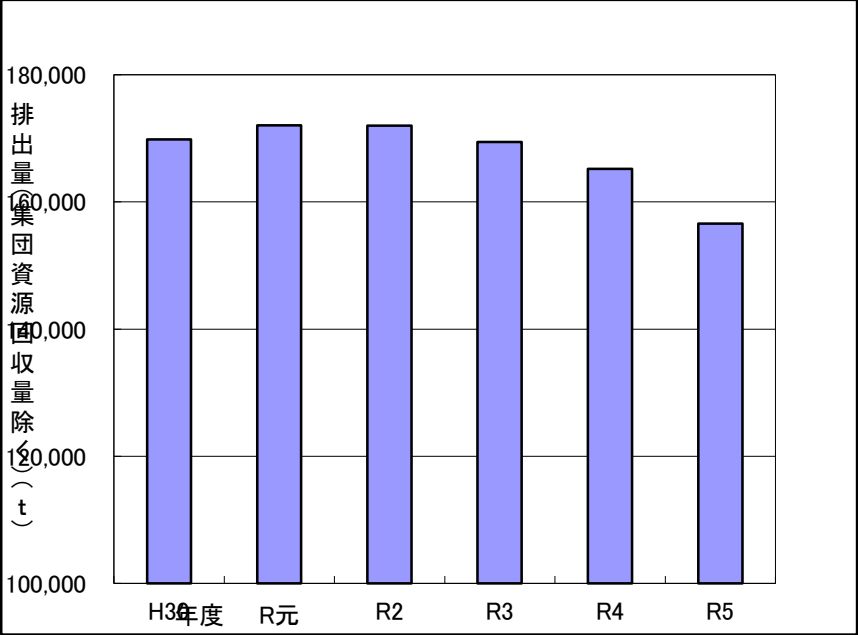


表2 排出量（集団資源回収量除く）の推移

年 度	H30	R元	R2	R3	R4	R5
排 出 量 (集団資源回収量除く)	169,803	172,076.62	172,039.11	169,425.94	165,189.01	156,587.62
	-	101.3%	100.0%	98.5%	97.5%	94.8%

【下段は、対前年度比率】

※平成30年度3 t、令和元年度333 t、2年度17 t、3年度5 t、5年度7 tの災害廃棄物を含む。

(3) 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

令和5年度の家庭系一般廃棄物排出量（集団資源回収量除く）は、対前年度比7,543 t (6.1%)減少した。

事業系一般廃棄物の排出量は、対前年度比1,065 t (2.5%)減少した。

図3 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

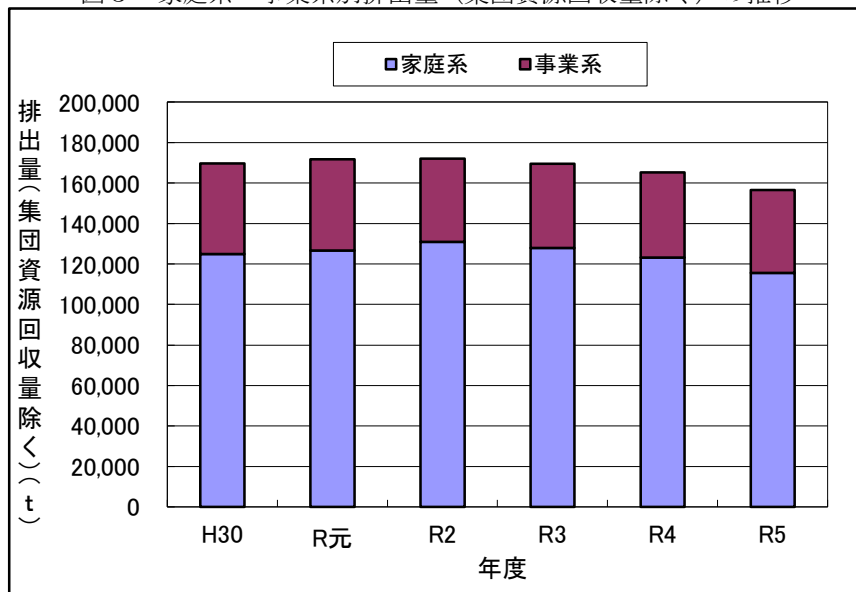


表3 家庭系・事業系別総排出量の推移

年 度	H30	R元	R2	R3	R4	R5
家 庭 系	125,017	126,664.76	130,980.74	127,935.68	123,245.95	115,703.28
	-	101.3%	103.4%	97.7%	96.3%	93.9%
事 業 系	44,783	45,078.54	41,041.50	41,484.96	41,943.06	40,877.62
	-	100.7%	91.0%	101.1%	101.1%	97.5%

【下段は、対前年度比率】

※家庭系・事業系に災害廃棄物は含まない。

(4) 分別収集の推移

ア 一般ごみ

令和5年度は、対前年度比6,408 t (4.6%)の減少となった。内訳は、家庭系が5,348 t (5.6%)減少、事業系が1,060 t (2.5%)の減少となっている。

図4 一般ごみの推移

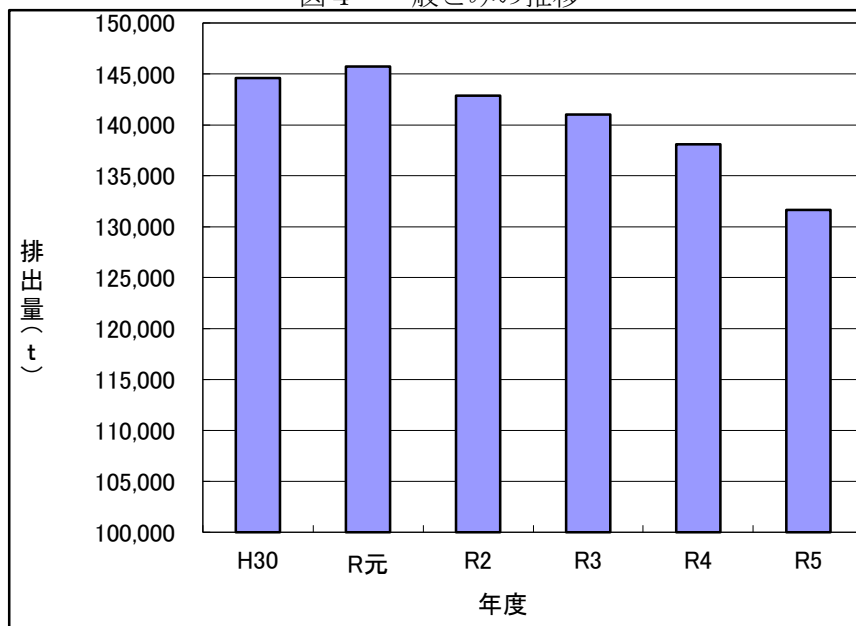


表4 一般ごみの推移

年 度	H30	R元	R2	R3	R4	R5
一 般 ご み	144,593	145,715.85	142,846.86	140,995.22	138,085.37	131,677.56
	-	100.8%	98.0%	98.7%	97.9%	95.4%

【下段は、対前年度比率】

※一般ごみに災害廃棄物は含まない。

イ 粗大ごみ

令和5年度は、対前年度比1650 t (25.3%) 減少した。内訳は、家庭系粗大ごみが1,639 t (25.3%) 減少、事業系粗大ごみが11 t (19.4%) 減少となっている。

図5 粗大ごみの推移

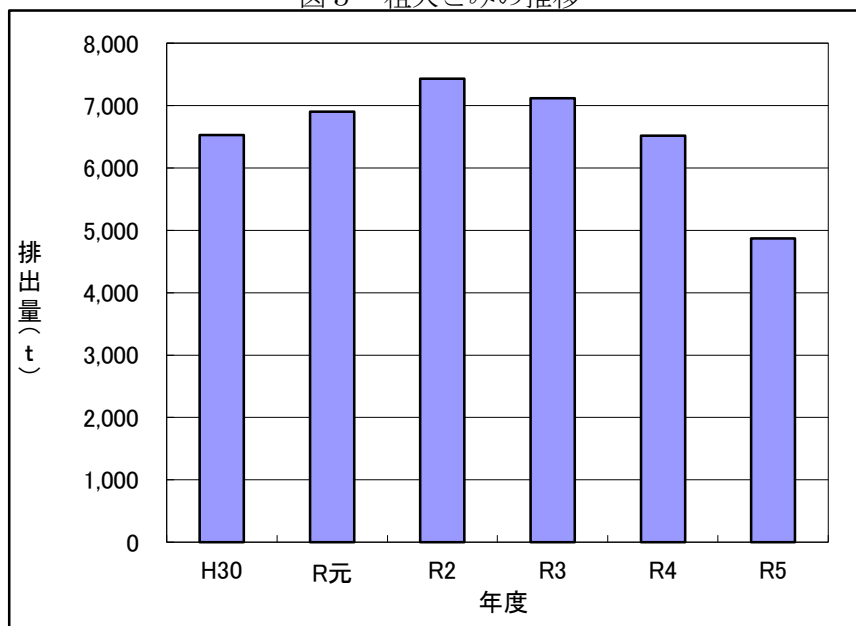


表5 粗大ごみの推移

年 度	H30	R元	R2	R3	R4	R5
粗 大 ご み	6,529	6,904.25	7,430.11	7,119.65	6,521.51	4,872.00
	-	105.7%	107.6%	95.8%	91.6%	74.7%

【下段は、対前年度比率】

※粗大ごみに災害廃棄物は含まない。

ウ 資源物

令和5年度は対前年比542 t (2.6%) 減少した。内訳は、家庭系資源物が547 t (2.7%) 減少、事業系資源物が5 t (17.7%) の増加となっている。

図6 資源物の推移

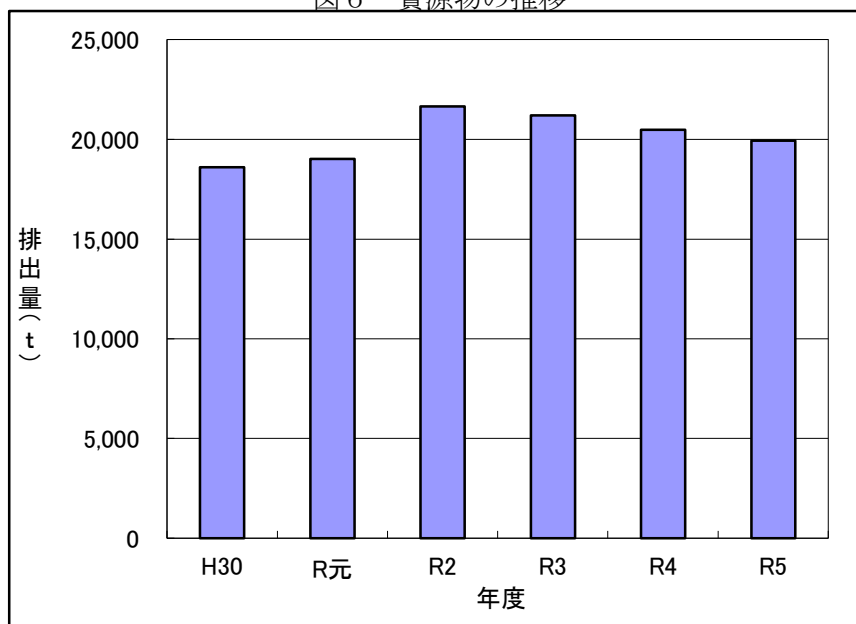


表6 資源物の推移

年 度	H30	R元	R2	R3	R4	R5
資 源 物	18,590	19,022.50	21,642.72	21,202.08	20,474.12	19,931.89
	-	102.3%	113.8%	98.0%	96.6%	97.4%

【下段は、対前年度比率】

※資源物に災害廃棄物は含まない。